



荒川家住宅「荒為」 主屋、旧店蔵、土蔵が 国登録有形 文化財（建造物）に



荒川家住宅「荒為」

商都下館を代表する荒川家住宅（田町）は、卸問屋の「荒為」が増築・改修を繰り返しながら建造物としての歴史を守り、下館の歴史を見守り続けてきました。

建立時期は、それぞれの建築様式や記録から主屋は明治25年増築、旧店蔵と土蔵は明治後期ころとみられています。

精巧な釘隠しや組子障子、欄間彫刻など、建物のいたるところに職人の技を見ることができる荒川家住宅。平成14年には、筑西市出身で陶芸家の文化勲章受章者・板谷波山の生涯を描いた映画『HAZAN』の撮影にも使用されるなど、新しい歴史を刻んでいます。

